

令和2年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立広尾高等学校 全日制課程		進路実績 特 徴	4年制大学	70%	短期大学	2%	専門学校	7%	就職	1%	その他	20%					
		「Es irrt der Mensch, solange er strebt」 -広尾には未来を拓く力がある-			一般受験を前提に、目標を高く持ち、第一志望を目指す進路指導。														
基	在 地	〒150-0011 渋谷区東四丁目14番14号		電話 番 号	03-3400-1761		基 本 情 報	主 要 な 部 活 動	硬式野球、男子バスケットボール(全都ベスト32)、女子バスケットボール(スポーツ特別強化校指定)、ダンス(全国大会出場)、文芸(文化庁推進校指定)										
		「Es irrt der Mensch, solange er strebt」 -広尾には未来を拓く力がある-			学校生活の充実度(生徒83%、保護者93%が肯定的回答)														
本	ア ク セ ス	(1) JR・東京メトロ 恵比寿駅下車 徒歩10分(またはバス5分)		学 科	普通科		入 学 者 選 抜 情 報	募 集 人 員	推薦に基づく選抜(男子20人 女子19人)、学力検査に基づく選抜(男子81人 女子74人)										
		(2) JR・東京メトロ・京王 渋谷駅下車 徒歩20分(またはバス10分)			30年度入学生				推薦	男子	4.65	31年度入学生	推薦	男子	2.75	02年度入学生	推薦	男子	2.70
情	生 徒 数 の 概 況	627人(男子295人 女子332人)		特 徴	2・3学年で土曜日授業、国語・数学・英語で習熟度別授業をそれぞれ実施		報	学 力 検 査	女子	6.00	女子	2.41	女子	4.68	女子	2.26			
		2・3学年で土曜日授業、国語・数学・英語で習熟度別授業をそれぞれ実施			男子	2.15			男子	1.56	男子	1.88							
報	ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.hiroo-h.metro.tokyo.jp/		自 律 経 営 推 進 予 算	02年度(単位:万円) 1,925		そ の 特 徴	文化・スポーツ等特別推薦実施 野球(3人)、バスケットボール(男子3人、女子3人)											
		連携型中高一貫教育校			校 服	男子 プレザー(紺色)		主な学校行事 体育祭(6月)、文化祭(9月)、修学旅行(1月)、持久走大会(2月)、合唱祭(3月)											
目 指 す 学 校	そ の 他	女子の制服にはスラックスもあり		女子 プレザー(紺色)															
		学習指導、生活指導、進路指導等を通して生徒の資質を伸ばし、主権者として必要な能力を確実に身に付けることで、社会の中核となる人材の育成を目指す。																	

学習指導、生活指導、進路指導等を通して生徒の資質を伸ばし、主権者として必要な能力を確実に身に付けることで、社会の中核となる人材の育成を目指す。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価									
目 標 ①	学力の向上と希望進路の実現 ○中堅以上の大学への進学に必要な学力の育成を継続する。 ○生徒自らが高い目標を設定する進路指導を継続する。	○GMARCH以上の大学への現役合格者数を、延べで40人以上とする。 今年度の卒業生のいわゆるGMARCH・早慶上理・国公立等の合格者数は、延べで48人であった。来年度も、「第一志望宣言」など、生徒が早期に進路目標を設定してその実現を目指す取組を継続する。 ○大学入学共通テストの受験率の80%以上の定着を図り、卒業時の進路決定率を90%以上とする。 大学入学共通テストの受験者数の割合は86%となり、昨年度を上回った。進路決定率は94%となった。来年度も大学入学共通テスト受験の推奨と共に、模試の分析結果を活用した効果的な出願指導を継続する。									
目 標 ②	活力のある学校生活の実現 ○部活動等の特別活動の活性化に向けた取組を継続する。 ○基本的な生活習慣を確立と規範意識を醸成する指導を継続する。	○部活動への加入率を100%以上とする。 「部活動活動状況調査」等によると、生徒の部活動加入率は98%であった。来年度も、文化スポーツ特別推薦の種目を中心に部活動の活性化を継続することで、加入率が100%以上となるように努める。 ○体罰といじめなしを継続するとともに、年間の遅刻者数を延べで4000人以下とする。 年3回実施した「いじめアンケート」と、「体罰アンケート」によると、いじめと体罰の件数はそれぞれなしであった。また、年間の遅刻者数も延べで1529人であった。									
目 標 ③	地域等との連携と情報発信の実現 ○連携型中高一貫教育を活用した地域等との連携を継続する。 ○教育活動の情報発信と中学生等への広報活動の充実を継続する。	○「東京都オンラインブック・パブリック教育『実施方針』」等に基づき、地域とも連携した教育活動を年間5回以上実施する。 オリンピック・パラリンピック教育の一環として、パラリンピアンを講師とした講演会を1回実施した。また、地域と連携してバラスポーツを体験する「渋谷運動会」などの教育活動を計画をしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。 ○ホームページとSNSを年間200回以上更新する。 ホームページとSNSの更新回数は、年間を通して200回となった。来年度も、学校行事を随時にホームページに掲載するなど、ツイッターとフェイスブックの情報発信の充実を継続する。									

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	29年度		30年度		31年度		今年度		03年度	04年度	05年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	国公立・早慶上理・GMARCH等の卒業時の合格者数	40人	36人	40人	42人	40人	35人	40人	48人	40人	40人	40人
目標②	学力検査に基づく選抜の応募倍率	2.3倍	2.3倍	2.3倍	1.7倍	1.8倍	2.1倍	1.8倍	2.1倍	1.8倍	1.8倍	1.8倍
目標③	部活動加入率	100%	103%	100%	105%	100%	88%	100%	98%	100%	100%	100%

